

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0793110024		
法人名	株式会社まちづくり小野		
事業所名	グループホームさくらんぼ仲町		
所在地	福島県田村郡小野町大字小野新町字仲町9		
自己評価作成日	令和5年9月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	〒974-8232 福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	令和5年10月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

職員は利用者のどんなに些細なことでも気になったことや状態の変化などを報告してくれるので、その内容に合わせ専門職の意見やアドバイスを受け対応について検討し迅速な対応ができています。 自宅で生活しているような作業はできる限り行って頂けるよう支援している。例えば、洗濯物干し・洗濯物畳み・食器洗い・食器拭き・掃き掃除・野菜の手入れや収穫・1Fから2Fへの食材等の運搬等であり、その他肩もみが得意の方は職員の肩をほぼ毎日揉んでくださっている。この方は昨年は被害妄想で落ち着かなかった方だが、役割支援の声掛けの工夫により今では「肩凝ったらいつでも言ってくれ」とありがたいお言葉をいただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域密着型サービスの役割を理解し、高校生のボランティアを受け入れ、介護の仕事を希望する学生職業体験を受け入れようとするなど、事業所の持っている力を地域で活かしている。行政との連携や事業所の情報発信に力を入れており、家族や職員の意見を積極的に取り入れ、ケアの質の向上と、地域に開かれた運営を目指している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝の申し送りの際、出勤している職員全員で運営理念を読み上げ実践へ向けて意識を高めるよう努めている	ひとり一人の利用者に、どう接することがその人にとってより良い生活の実現に繋がるかを、理念を通して考え日々取り組んでいる。理念を朝礼時に復唱することで日々のケアを振り返る一助とし、利用者が安心して生き活きと生活している姿に繋げている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として近所づきあいや地元の活動、地域住民との交流に積極的に取り組んでいる。	地域の行事等に積極的に参加、活動支援している。昨年から再開された秋のお祭りへの参加を通して交流したり、かかりつけ医での「お笑い講座」を観覧することもあった	毎月届けて貰っている町内会報を楽しみにしている利用者もあり、町内会や隣組へ参加している意義を感じている。町内の高校生の「マーボランティアスクール」の受け入、職業体験の受け入れも行う予定でいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	サマーショートボランティアや職場体験の受け入れを通して利用者とのふれあいや施設のサービスの仕方を実際に見て感じていただけるよう取り組んでいる		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている。	運営推進会議で出た議題や重要な見解などについては議事録だけでなく月1回の職員ミーティング時に必ず管理者から説明を受け話し合いサービス向上に活かしている	コロナ禍で面会制限があり窓越しでの面会を利用者や家族のことを考えるとどうにかならないかとの話があり、クリアボードを購入し、感染対策し居室以外で短時間での面会に改善している。出された意見等は職員間で共有し、ケアの質の向上に繋がるよう努めている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	町主催の介護支援推進会議に出席し情報交換をおこなっている。今年は百寿の方のお祝いを町の方々をお呼びすることになり担当者や密に連絡をとり無事執り行うことができた。その際は、こちらのサービスの取り組みについても伝え協力していた	百歳を超えた利用者のお祝いを、町長を招いて行うなどしている。町からは、コロナワクチンの7回目の接種についての情報などを受け取っている。町の介護支援推進会議へ出席し事業所の現状を伝えるようにしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法改正により、身体拘束廃止委員会に虐待防止検討委員会を同じ委員会とした「身体拘束廃止・虐待防止検討委員会」として発足し、今まで以上に内部研修の充実やオンライン研修の活用などを実施し、ミーティングなどで具体的に不適切ケアを含めた身体拘束や虐待が行われていないか検討している	身体拘束等の適正化のための指針を姉妹施設と共同で作成し、3か月に1回の委員会で振り返り、確認用として活用している。言葉の拘束については、職員がつい使ってしまう言葉を理解し、職員間で互いに話し合っている。	
7	福-1	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修や今年から導入されたジョブメドレー(オンライン研修)を活用し高齢者虐待について学び通報の義務があること学び共通認識を持ち、利用者の身体状況を日々観察し傷やアザなどを発見した場合には職員で確認し合い原因について考察し、注意、防止、解決に努めている。	身体拘束廃止・虐待防止検討委員会を中心に、会議の中で冊子を利用し、どんな行為が虐待に当たるかを話し合っている。職員のストレスが虐待に繋がらないよう、職員と会話できる時間を利用し声掛けを行い微妙な変化の把握に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員はこれらの制度について学ぶ機会を設け、認知症対応の施設であることや権利擁護の必要性に鑑み現在は成年後見制度の利用に繋がっている方はいないがいつでも活用できるように努めたい。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用開始の前に重要事項や契約書の説明を行い納得されれば署名捺印をいただくようにしている。また、改定などがあれば、書面を作成し説明を行い理解・納得されれば同意書をいただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議で家族代表者から出された意見などは申し送りや職員ミーティングにて全職員に伝わるようにしている。面会簿へご意見欄を設け、面会時には職員とも話しやすい雰囲気作りにも努め近況等を伝えるようにしている	利用者の事故の報告が遅れたことへの説明や、少しの変化でも連絡してほしいとの要望があり、きちんと対応している。意見や要望が、ケアの質の向上に役立つと理解し、感謝し、話して下さってありがとうございますと伝えている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営や管理についての職員の声に耳を傾け、活かしていくことを心がけ、職員の働く意欲の向上や質の確保を図っている。	毎月の職員ミーティング等で業務に関する意見、設備に関する意見、要望などを話し合い管理者から代表者に相談しているが運営に関しては代表者が個々の意見や提案を聞く機会は少ない	介護の現場を知るために代表者の朝礼への参加希望に対し、平日の申し送りに参加して貰い、介護現場の状況を理解してもらえる一助となっている。無資格パート職員に、資格取得後は正社員雇用となることを伝え、資格取得に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力や実績、勤務状況を把握しやりがいや向上心をもてる職場環境が築けるよう管理者から代表者に働きかけを行っている。現在資格取得に向け努力している職員がいる		
13	福-2	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が職員一人ひとりの能力や力量を把握し個々に見合った指導や研修への参加を代表者に相談しながら促し職員の質の向上に努めている。また、今年から導入されたオンライン研修は階級別の研修もあり今後活用が定着するよう努力中である	職員として求められる人材像を職員間で共有し、オンライン研修を取り入れている。それぞれの職員の立場や経験、習熟度に応じて、計画的な人材育成に取り組んでいる。その結果、ユニット間や職員間の連携が向上している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	福島県グループホーム協議会に入会している。また、地域の介護支援推進会議に主席しネットワークづくりをしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス導入前に必ず本人に会い本人の生の言葉を聞き信頼関係を築いていけるよう努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約の時点で家族との今後の信頼関係の構築を見据え家族の困っていることや不安なこと、要望等を聞くよう努めている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス導入にあたってはグループホームでの生活が適切か、他のサービス利用での生活が良いか、他施設での生活が良いかを担当ケアマネ、利用しているサービス担当者等と意見交換を行いご本人とご家族にとってより良い選択が出来、満足していただけるよう努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	できる限り家に居るような日常生活が送れるよう、掃除、洗濯、台所仕事、畑仕事、買い物、地域の風習など出来ることに関しては人生の先輩として、意見を聞きながら一緒に行ってもらっている。また、得意なことがあれば職員も遠慮せず頼んでいる		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に一度の近況報告や、ご家族の面会時、電話での連絡時に最近の状況や困っていることなどを伝えご家族に助言していただいたり一緒に考えたりしている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	かかりつけの病院や理・美容院など本人がこれまで大切にしてきた馴染みの関係を断ち切らないよう家族の協力をを頂きながら支援している	かかりつけ医や行きつけのお店の利用を通して、これまでの関係が継続できるようにしている。コロナ禍であっても、居室以外の事業者内の決められた場所で面会して貰っている。入居前に住んでいた自宅に出かけたりしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者それぞれの性格や状況を常に把握し不要なトラブルが起きないよう、座る場所や行う作業、活動を見極め、なおかつ、皆で仲良く楽しく過ごせるよう努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族や担当ケアマネさん、施設の相談員さんなどと話しをする機会があれば、相談や支援しているが、こちらから積極的にアプローチすることはない状況である		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、関係者で本人の視点に立って意見を出し合い、話し合っていく取組を心がけている。	日々の会話や行動を通じて希望や意向を把握し職員全員で共有し、希望に添うように日々、検討している	本人や家族への聞き取り、何気ない会話の中にもヒントがあることを常に意識している。欲しいものや、分量などの食事の意向の思いがあり、食事については、口腔内の状況等を検討し、その人の希望に沿うようにできている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	事前調査にて知りえた生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、利用していたサービスなどをアセスメントシートにまとめ、その情報を把握しつつ生活しながら本人の話しを聞いたりご家族からの話しを聞くなどして、本人の馴染みの暮らし方により近い生活ができるよう努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一緒に過ごし、一緒に日常生活上の作業や活動をする中で、それぞれの、その時の状況を把握できるよう努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や職員ミーティング、各種委員会などを通して、本人が持っている力を活かし本人らしく生活できるようご家族の意見も取り入れながら職員間で意見を出し合い介護計画に活かしている	家庭と同じようなことができる利点を活かし、可能性を探り、自分でできることは行って貰えるよう、役割の支援を通して意欲向上に繋がるような計画作りを心掛けている。サービス実施チェック表の評価項目を活用し次の計画に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の申し送りやケース記録、サービス実施チェック表、申し送り簿などで職員同士情報を共有し実践し介護計画に反映している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	自己決定、身体状況に合わせて支援しているが、その時々に応じたニーズには柔軟に新しい考え方で支援も出来るように努めている		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域行事への参加やボランティアさんの来訪、散歩や買い物などで近隣、地域の方々ともふれあいながら地域らしい豊かな生活が送れるよう努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医に受診するようにしている。また、専門の医療が必要と思われた方はかかりつけ医に相談し他の医療機関に繋げている。	協力医療機関がかかりつけ医の方もいる。受診は看護師が同行しているが、耳鼻科などの診察は村外となるため、家族と相談し対応している。受診結果は、毎月の状況報告時に看護師から報告し、急ぎの場合は電話で連絡をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々、心身の状況を観察し看護師に相談、報告し受診時の的確な情報提供につなげ、適切な受診が受けられるよう支援し、受診後の報告についても的確な報告、指示がもらえるよう努力している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は不安にさせないよう面会に行ったり病院関係者との情報交換を行い、なるべく早期に退院でき環境の変化による影響を最低限に押さえられるように努めている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時にご本人の意向も踏まえて考えていただき、入院や重度化などその時の状況に応じて都度相談し、ご家族、かかりつけ医、看護職、ケアマネ、介護職員間で話し合い、方向性や方針を共有し支援できるよう努めている	事業所と担当医の連携で、本人が少しでも安心できるよう家族の面会の機会を多くして貰っている。重度化や終末期に対応するために職員へ研修の機会があれば活用し、看護師からも指導を受け安心して対応できるようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員の救命講習受講や救急救命の勉強会への参加は行っているが、定期的な訓練は行っていない		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的な避難訓練を行い、近隣の方への参加、協力を依頼するとともに地元消防団の方々にも訓練に参加してもらい、お互いに確認事項をその都度、話し合い協力体制を築いている	訓練の時に、消防署や地域の方の協力や参加をして貰っている。消防署立ち合いの訓練後に、訓練は恥ずかしながら真剣に繰り返し行うことが大切とのアドバイスを受けている。職員は年に一度以上訓練に参加できるよう、勤務表の調整をしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレでの動作でふら付きある方の場合でも、排尿時はいったんその場を離れるがドアは開けっ放しにせずセンサーを利用するなど配慮している 訪室する際はノックを3回するよう共有し実行している	職員は居室へ入る際のノック、トイレや入浴の際の配慮、個人情報を他の方に聞こえるように話さないなど、尊重とプライバシーの確保を理解している。言葉かけは、笑顔ではっきりと、本人の目線に合わせて行うようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活のあらゆる場面で自己決定が出来るような声かけや環境の設定をし遠慮なく希望を伝えられるよう支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	与える介護ではなく、ご本人が望む介護を目指して日々の流れに囚われず、その人のペースや希望にそえるよう柔軟に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えや外出時の服の選択、散髪時の要望、鏡の前で身だしなみができるように支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている。	メニューの検討、食事の下準備や調理、盛り付けを一緒に行ったり、畑での野菜作りやブルーベリーの収穫を行い新鮮な野菜を見て、触って味わって頂けるよう支援している。	メニューは、管理者が地域の旬の食材や季節感を大切に、行事に合わせて栄養バランスと彩りも考慮し作成している。食事は、ゆったりとした雰囲気を中心に掛けている。行事の時は、担当職員が利用者と相談し、手作りしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	持病や体型、摂取量に応じて量を調整したり食べやすい形状や盛り付けにしたり工夫をしている。水分摂取量は随時チェックし不足時は味を変えたりゼリーや寒天、器を変えるなど工夫している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの誘導、見守りを行い充分でない方のお手伝いをするなどして口腔内の清潔を保っている。義歯は1日1回消毒している		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の生活パターンや行動から排泄時間を見極めトイレでの排泄が習慣になるよう声かけや誘導、介助を行いトイレで排泄できるよう支援している	できる限り自分で、トイレでの排泄が望ましいことを目標にし、身体的な障害その他でそこまで難しい方であっても、清潔保持は大切にし、布パンツなどへの自立の例がある。自立に向けた可能性を見逃さないよう職員間で連携している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	個々の排便、便秘の状況を把握し薬にばかり頼らず、食物、水分、運動、粉末の食物繊維などを取り入れながら自然排便が出来るよう日々検討、努力している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	基本、入浴日はそれぞれに決まっているが拒否や体調不良があった場合には時間や曜日の変更を臨機応変に行い対応している	嫌がる人には、声掛けの際、髪染めの話をしたり、寒さに敏感な方であれば脱衣室を温めておきました、とかその方に合わせた声掛けの工夫をしている。入浴剤やその人の好みのものがあれば利用し、楽しんで入浴して貰えるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休息が出来るよう無理強いせずに個々の生活パターンに合わせて支援している。夜間、快眠できるよう、昼間日光に当たってもらったり適度な運動を行う等の支援をしている 寝具は定期的に洗濯し清潔保持されている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各ケース記録に服薬内容の情報が閉じてあり変更や、追加時には申し送りを実行し服薬後の症状の変化についても記録し経過をわかりつけ医に報告できるように努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	毎日の生活の中で得意、不得意、好き、嫌いを把握し、それぞれが得意なこと、好きなことを出来る場面を作り、張り合いや充実感、満足感、達成感を感じてもらい日々楽しく過ごせるよう支援している		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ストレスが溜まらないよう希望に応じて外出できるよう努めているが希望の場所に行けなくても近所への散歩や畑作業、食材の買い物、ドライブなどで気分転換が図れるよう努めている	気分転換やストレスの発散、五感を刺激する機会として外にでることの意味や役割を理解しており、天気の良い日には中庭を利用しレクリエーションをしたり、近くの神社や川添いの歩道の散歩をしている。毎年、花見や紅葉狩りを実施している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご自分で管理できない方は事務所で預かっており、必要な時はそれを持って使えるように支援している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話したい意向を確認した場合には施設の電話を利用したり、携帯電話を持っており自ら掛けて家族と連絡を取り合っている。</p>		
52	(19)	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に応じた壁の飾りや装飾品を用意し気候に合わせて窓やカーテンの開閉を行い温度や光などの配慮をしている。共有空間は常に整理整頓し居心地良く過ごせるように努めている</p>	<p>共用空間のソファや天気の良い日には中庭の長椅子で日向ぼっこをしたり、事務所のスタッフに挨拶に来られる方など、思い思いに自由に過ごして貰っている。歩行や移動の安全確保のために、障害になる物は置かないよう常に整理整頓を行っている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テーブル席とは別に、ソファやローテーブルを準備し自由にくつろげるようにしている 中庭があり、長椅子が数台あり自由休めるような工夫をしている</p>		
54	(20)	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている。 (グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている。</p>	<p>各自の馴染みのものを置いたり家族の写真、思い出の写真などを飾り、その人らしい空間を作り安心して過ごせるように工夫している</p>	<p>伝い歩きをされる方や車いすを利用される方など、その人の身体状況に合わせて、家具の配置を考慮している。担当者が季節の変わり目には寝具や衣類のチェックを行い、不足が時は計画作成担当から家族へ伝え、準備して貰っている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>自立できるように各居室への表札、トイレ、浴室の表示、スロープや手すりの設置がされている</p>		